

姉妹校との絆は コロナに負けない

—カシミア高校（ニュージーランド）とオンライン交流—



これまでのオンライン交流は、昨年までに短期留学を経験した人が中心になっていました。今回から、いよいよニュージーランドや日本に行ったことのない高校生同士が顔を合わせるオンライン交流がスタートしました。

より多くの人にニュージーランド・カシミア高校生と触れ合うことで国際交流を身近に感じてもらえるよう、授業時間に設定しました。オンライン上で、倉敷南高校生 4 人グループが

集うバーチャル会議室に、カシミア高校生を招待する形式（ちょうど、1 年次生が体験したラーニング カフェのような形式）で実施しました。

日 時： 11 月 4 日（火）3・4 限 1 年次英語 TTLL の時間（NZ 時間 14:30-）
会 場： 東棟 3 階 CALL 教室
参加者：（倉敷南高校）1 年次生 20 名×2 組
（カシミア高校）日本語学習をしている 11 年生（日本の高 1 生）7 人
テーマ： 自己紹介をし、カシミア高生に身近な話題の質問をして互いを知る



カシミア高生は日本語で、本校生徒は英語で自己紹介をしてから、互いの学校生活について質問をし合いました。5 人の少人数グループで高 1 生同士ということもあって、すぐに打ち解けることができ楽しい交流の時間となりました。



Student's Voice



最初はすごく緊張しましたが、相手に英語が通じたことがうれしくてもっと英語が話せるようになりたいと思いました。時間がとても短く感じられたので、いつかは実際に会ってゆっくり会話がしたいです。



グループトークをしたカシミア高校の生徒は日本語がとても上手でした。僕たちの英語を楽しそうに聞いてくれうれしかったです。これからは外国の方と英語で会話することが増えていくと思います。今回の貴重な体験を今後につなげていきたいです。